

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

緊急事態宣言が発出されている中で卒業研究発表会。まさに本学の歴史において初めて経験する事態を乗り越え、今年は皆さんを社会に送り出すこ

どんな時代でも 前向きであること



学長 成田 健一

研究に取り組み始めようとする矢先にリモートでの対応を余儀なくされました。卒業研究に取り組む1年間は、本学の学生が一番成長する時間です。その大事な時間に対面での指導が普段通りにできなかったことは、痛恨の極みです。ただこのような逆境の中で、皆

さんが卒業研究という集大成をやり遂げたという経験は、きっと皆さんの人生においてプラスになってくれると信じています。

これから世界規模で本格化するワクチン接種で、事態が収拾することが期待されています。しかし、世の中がまっ

ととなりました。残念なことに保護者の皆様には、晴れの学位記授与式にご列席頂くことができませんでした。学位記授与式をなんとしても執り行うための苦渋の選択であること、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さんは、昨年3月、卒業

たく元通りになることはないと思います。ウイルスという見えない存在が社会の色々な課題を可視化しました。むしろ元通りになってほしくないものは何か、それを考えることが、今は求められているように思います。これからの時代に必要なものは何か、改めて問われる工学の価値を実践することが皆さんの歩む道ではないでしょうか。

2030年までの今後10年間の我々の選択が、人類の行方を左右する、そういう認識が広まりつつあります。何もしなくても今までの生活が持続するというのは錯覚です。皆さんには、こんな時代だからこそ、世の中を悲観せず前向きに学び続けてほしい。高学歴であるとは一生涯続けること。それがこれからの時代の価値観です。本学で身につけた学びの作法を活かし、高学歴人材として、新しい社会の創造に貢献されることを心から願っています。